

令和5年 網走市議会
文教民生委員会 会議録
令和5年9月26日(火曜日)

○日時 令和5年9月26日 午前10時48分開会

○場所 議場

○議件

1. 議案第12号 令和5年度網走市一般会計補正
予算中、所管分

○出席委員(7名)

委員長	永本浩子
副委員長	村椿敏章
委員	金兵智則
	栗田政男
	里見哲也
	古田純也
	古都宣裕

○欠席委員(0名)

○議長 平賀貴幸

○委員外議員(0名)

○傍聴議員(6名)

小田部	照
澤谷	淳子
立崎	聡一
深津	晴江
松浦	敏司
山田	庫司郎

○説明者

副市長	後藤利博
教育長	岩永雅浩
学校教育部長	北村幸彦
学校教育部次長	大垣正紀
学校教育課長	高橋善彦
学校教育課参事	里見達也

○事務局職員

事務局長	岩尾弘敏
次長	石井公晶
総務議事係	早渕由樹

午前10時48分開会

○永本浩子委員長 ただいまから、文教民生委員会
を開会いたします。

本日の委員会では、付託されました議案1件につ
いて審査いたします。

それでは、議案第12号 令和5年度網走市一般会
計補正予算中、小学校施設改修費、小学校冷房設備
整備事業及び中学校施設改修費、中学校冷房設備整
備事業について一括して説明を求めます。

○高橋善彦学校教育課長 それでは、議案資料の3
ページ、4ページを御覧願います。

令和5年度一般会計小学校施設整備費、小学校冷
房設備整備事業及び中学校施設整備費、中学校冷房
設備整備事業の補正予算につきまして御説明をいた
します。

1の補正の理由及び内容でございますが、小中学
校の教室等に冷房設備を設置するに当たり、電気容
量等の調査を行うため、必要な経費を追加補正しよ
うとするものであり、金額は小学校で240万円、中
学校で110万円となっております。

近年、道内においても真夏日となる日が続いてお
り、当市におきましては令和4年度に全小中学校の
保健室にエアコンを導入したところでございますが、
近年の高温多湿を鑑みますと、教室等での室温、
湿度調整は学習環境を整えるためにも重要であり、
冷房設備導入の必要性は高いものと考えている
ところでございます。

そのため、来年度に向けて全小中学校を対象とし
まして、普通教室、職員室、校長室に冷房設備を設
置した場合におきます、消費電力量や受電設備容量
の調査を実施し、必要関連経費の積算を行い、導入
に向けた準備を進めようとするものでございます。

具体的な調査業務内容につきましては、各教室内
の本体や室外機の設置箇所の確認、また、電気容量
の確認、それと冷房設備の機種選定でございまし
て、工期は本年の11月末を予定してございます。

次に2の補正額でございますが、小学校で240万
円、中学校で110万円、それぞれの財源内訳につき
ましましては、全額ふるさと寄附基金繰入金を活用す
るものでございます。

歳出歳入予算における補正前の額、補正額、補正後の額につきましては記載のとおりでございます。

説明は以上でございます。

○永本浩子委員長 それでは質疑に入ります。

質疑ございますか。

○古都宣裕委員 早速調査に入るといことは大変素早い対応なんだなというふうに思います。

これ、小中それぞれなんですけれども、1校当たりどれぐらいっていう見立てなんですかね。

それとも全校まとめてなんだとは思いますが、そういう1校当たりの予算とかというのは見えていますか。

○高橋善彦学校教育課長 今の御質問は設置する場合のといった御質問でお答えをさせていただきますけれども、今回この調査をした後にですね、その電気容量ですとかその辺を踏まえまして、一遍に全てできるものなのか、何か年かかかるものなのかというところが見えてくると思いますので、こちらとしましてはできるだけ早くですね、この教室含めて設置はしたいというふうには考えているところでございます。

○古都宣裕委員 ごめんなさい、聞き方が悪かったですね。調査費に係る1校当たりの値段というのはどれぐらいなのかなっていうのを聞きたかったんですけれども、もしデータがあればまとめてくださると。

○高橋善彦学校教育課長 今回の調査設計費のですね、1校当たりの価格というものはですね、詳細には出ておりませんで、あくまでも一式というような内容となっております。

○古都宣裕委員 これ小中の委託先というのは同じなんですかね。それとも小中別々になっていますか。

○高橋善彦学校教育課長 今回金額がですね、割と高額ではないということなので発注に関しては、小学校費、中学校費を合わせた形での発注になるという形で考えてございます。

○古都宣裕委員 委託先はどちらですか。

○高橋善彦学校教育課長 この予算が当然承認されたからの発注になりますので、今現段階では決まっております。

○古都宣裕委員 これから入札みたいな形だと思います。

それぞれ調査の完了予定というのは、いつ頃とかって見込んでいますか。

○高橋善彦学校教育課長 一応、今現段階ではですね、本年の11月末を工期として進めたいというふうに考えてございます。

○永本浩子委員長 よろしいですか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

ほかに質疑ございますか。

○金兵智則委員 本当に早急な対応だというふうに思います。評価したいなというふうに思いますけれども、それが早期に付くことに繋がればより評価をさせていただきたいなというふうに思うんですけれども、これ、普通教室、職員室、校長室に設置するということが必要電気容量の確認とかをするということなんですけれども、結局全部でこれ、小中学校何台という計算なんですか。

○高橋善彦学校教育課長 現段階のですね、試算といたしますか、設置したいと思っている台数ですけれども、小学校で147台、中学校で71台、合計218台という形で考えてございます。

○金兵智則委員 なかなか電気容量が厳しそうな台数だなというふうに思いました。それが調査の結果で明らかになるんだなというふうに思いますので、進めて行っていただきたいというふうに思っています。

以上です。

○永本浩子委員長 ほかに質疑ございますか。

○栗田政男委員 時代というか、こういう異常気象じゃなくて、こういう気象条件の中でも必要なことなのか、この事業については反対するものではありません。

ただ気になるのは、いろいろ建物がそれに対応していない建物ですから、集中的な暖房っていうのは無理だと思うので、個別のものをたくさん付けると。それで、今言われている200台近くが付くんですけれども、学校っていうのはいろいろな電気設備、キュービクルを通して、その容量をこの調査で確認すると思うんです。必要最小限といいますか、今ちらっと出ましたけれども、かなり電気料がかかっちゃうよね。だから、そういうものをしっかりと確認をして、今は省エネの時代ですから、そういうのも調査の中にしっかりと組み入れていただきたいのと、あれですよ、先ほどの総務経済委員会でも気になったのですが、ふるさと納税基金を使ってやるということです。これは国のほうとしても暑さ対策というのは尋常ではないということですから、先ほどの総務経済委員会のように後から予算上の措置

とかが出てくるような話っていうのは今来ているんでしょうか、原課で。

○高橋善彦学校教育課長 現段階ですね、国の補正予算が出されるという見通しはないですけども、国のほうからですね、このエアコン設置につきまして、北海道を通じて交付金の活用、これはあくまでも次年度のということが前提ですけども、そういったところを積極的に活用して、エアコン設置に向けて各自自治体が努力するようという通達といえますか、今来ているところでございます。

○栗田政男委員 何らかの形で。コロナの時もそうなんですけど、コロナの基金を取りあえず一時的に活用して、こういう事業をやるといことなんでしょうが、一次的じゃないのかな、多分。コロナ基金があるからできる話なんです。コロナ基金じゃなくてふるさと基金があるから。安直にふるさと基金、原資があるから、こういう事業をすぐ組み立てられたっていうメリットがあるんですけども、これちょっと原課で今、教育委員会ではわからないと思いますが、財政課長が裏のほうにいると思うので、基金って潤沢に網走って残っているんでしょうかね。

○永本浩子委員長 暫時休憩いたします。

午前 10 時 58 分休憩

午前 11 時 00 分再開

○永本浩子委員長 再開いたします。

休憩前に引き続き、栗田委員の質疑に対する答弁から。

○高橋善彦学校教育課長 ふるさと寄附のですね、基金残高のお尋ねでございますが、令和 4 年度末の数字になりますが、37億3,893万7,000円でございます。

○栗田政男委員 今年になって若干、多分出している部分もあったような気がするのですが、少なくなっても十分にあるということなんでしょうが、そこでね、原資がないとこういう事業が組めないんですよ。エアコンを付けたくても付けられないし、今までですと国のほうに要請をして何とかお願いしていますっていう時間がかかった。ふるさと基金というありがたいシステムのおかげで今あるんですけど、残念ながら当市において、ふるさと基金というのはそんなに成功しているとは言えない状況があると思うんですけど、これも原課に聞いてもわかんないよね。わかんないけれども、なんていうんでしょうね、すごく大切なものだと。

僕は、前に一般質問でも言いましたが、ある面で

網走市のキャッシュフローなんです。溢れ出たお金なので、それが活用できるということは非常に大切なことなので、だからこそもっと力を入れて近隣の自治体に負けないようにしっかりとやるべきだということをして12月に申し上げたのですが、今年になって強化しているっていうのはないような気がするのですが、ちょっとこれ的外れ感で教育委員会とちょっと違うんだけど、副市長どうでしょうね、基金っていうのは……。

○永本浩子委員長 栗田委員、今回の補正予算とは所管も違いますし、別の機会にその辺のところの質問をお願いいたします。

○栗田政男委員 いや、関連するんじゃない。

○永本浩子委員長 所管が違いますので。所管が違います。

○栗田政男委員 所管が違う……、基金を使うんだから。

副市長どうでしょう、この感覚っていうのは。

答えづらかったら無理は言いません。

○永本浩子委員長 暫時休憩いたします。

午前 11 時 02 分休憩

午前 11 時 04 分再開

○永本浩子委員長 再開いたします。

栗田委員の質疑に対する答弁から。

○後藤利博副市長 ふるさと寄附へのお尋ねということでございます。

これまで、一般質問なりの中でも当市のふるさと寄附を増やすという方策について御提言も併せて、議員の皆様からも御意見を頂いているところでございます。

当然、私どもも大変、市政運営に当たっては必要な財源とっておりますので、しっかりと対応していくということも当然考えておりますし、10月に、これまでお話の中であったように一部見直しがされるとそういうこともありまして、そこがしっかりとした返礼品、国で求めているような返礼品になるような形にしないと、これはもっとも見込み、全くのゼロとそんなことになってしまいますので、そういう観点も用いた中でしっかりと対応していきたいというふうに考えてございます。

○永本浩子委員長 ほかに質疑ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それではなきようですので、お諮りいたします。

議案第 1 号令和 5 年度網走市一般会計補正予算中、所管分につきましては、全会一致により原案可

決すべきものとして決定してよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、そのように決定いたしました。

以上で、文教民生委員会を終了いたします。

お疲れさまでございました。

午前11時05分閉会
